基本目標２　支え合う地域を創る「つながりづくり」

活動目標①　[　情報を知り、知識を深めよう　]

地域福祉計画
関連項目
基本施策２－３

■現状と課題

社会情勢の変化に伴い、地域生活課題も複雑化・複合化しており、適切な福祉情報を得る必要性が高まっています。

誰もが必要な時に必要な福祉情報を容易に入手することができるよう、わかりやすい情報提供や環境整備が必要です。様々な媒体を活用し、より多くの地域住民に福祉情報が届き、相談場所を見つけ、サービスを安心して利用できることが求められます。また、耳や目が不自由な方等に配慮し、受け手に合わせた情報提供が求められます。外国籍の人々への支援や地域社会との関係づくりを進める必要があります。

■具体的な取組

	取組内容	取組チェック表		
		Ｒ４年	Ｒ６年	Ｒ８年
一人一人が取り組むこと	●社協だより、ホームページ、フェイスブック、ほっちゃテレビ等で福祉の情報を得ましょう。			
	●福祉に関する講座や研修に参加し、福祉への関心を高め、知識を深めましょう。			
	●自分が知っている地域の情報や活動情報を周りの人へ提供しましょう。			
地域みんなで取り組むこと	●地域福祉に関する情報や活動の情報を提供しましょう。			
	●地域福祉に関する情報や活動の情報を共有する機会を作りましょう。			
	●情報の得にくい人への情報発信をしましょう。			
社協が取り組むこと	●社協だよりを年６回発行します。			
	●ホームページ、フェイスブックの内容の充実を図ります。			
	●ほっちゃテレビ、FM アクア等メディアを活用した情報発信をします。			
	●地域住民が利用する公共の場所（バス停、公園等）にベンチを設置します。			
	●座談会等を開催し、地域課題の情報収集に努めます。			

	●他機関の活動の情報を収集・把握し、地域の方へ情報提供できるよう努めます。			
	●視覚や聴覚に障害があっても必要な情報を得ることができるよう、受け手に合わせた情報提供を支援します。			

■５年後の姿

●身近な地域で、あらゆる人が福祉情報を得る環境が整っている。
●必要な人に必要な時、必要な情報が行き渡るようになっている。
●地域福祉に関する情報や活動の情報を、お互いに共有する意識を持つ人が増えている。
●様々な福祉の知識を深める人が地域に増えている。
●様々な情報を得ることで、福祉サービスの利用が増えている。

■私たちに届く身近な情報

広報紙・情報誌

地域の回覧板

テレビ

ラジオ

口コミ

インターネット

スマートフォン　など

～受け手に合わせた情報提供方法～

点字

手話

要約筆記

筆談

音声訳　など